

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		常時、子ども1人あたり6㎡以上の床面積を確保し、静養室や個室も設けています。
	2 職員の配置数は適切である	○		保育士及び児童指導員や指導員を、基準の2人より3人以上の加配体制で配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		2階まで階段昇降機を設置している。玄関に段差無し。作業訓練室に5cm、トイレの入り口に2cmの段差があるが車椅子利用者でも軽介助で昇降可能である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		常時、清掃と次亜塩素酸水にて消毒を行い、静養室や個室も設けています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		随時、または定期的なミーティングを行い、業務改善に努めています。
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		令和7年3月に実施しまして、結果を公表しています。ご意見を参考にして業務改善に繋げたいと思います。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今後も定期的にホームページ上に公表していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今後、実施できるように努めています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎週、事業所内の研修会を実施しております。外部の研修会にも参加できるように努めています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		初回面接や、契約時にご自宅に訪問して家庭内での様子を伺ったり、計画作成前に希望表の記入をお願いし、作成しております。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		随時、または定期的なミーティングを行い、活動プログラムの計画をしています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		随時、または定期的なミーティングを行い、活動プログラムの工夫をしています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		随時、または定期的なミーティングを行い、活動プログラムの工夫をしています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		随時、または定期的なミーティングを行い、活動プログラムの工夫をしています。プログラムの担当者を決め創意工夫しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		随時、または定期的なミーティングを行い、活動プログラムの工夫をしています。日本の四季折々の行事、英会話教室とコラボして欧米の行事を取り入れたりしています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		随時、または定期的に担当者会議を開き、個別・集団の支援について検討しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に、職員間でミーティングを行い、情報を共有しています。非常勤職員へも必ず、申し送りノートや口頭にて情報を共有しています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に、職員間でミーティングを行い、情報を共有しています。非常勤職員へも必ず、申し送りノートや口頭にて情報を共有しています。
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別や集団の記録書を用いて、支援内容や検証・改善に努めています。

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		必要時もしくは6か月に1度はモニタリング、担当者会議を行い、計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者や、担当の職員等、子どもの状況を把握している者を参加させています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて、担当者会議にも参加して、助言等を受けています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		直接訪問し担任や管理職と対象児童について説明したり、情報共有し、相互理解に努めています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		直接訪問し担任や管理職と対象児童について説明したり、情報共有し、相互理解に努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて、担当者会議にも参加して、助言等を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		商店街の子ども食堂に参加し、地域の方々や子ども達と一緒にゲームをしたり大工仕事をしたりして活動しています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	今後、実施できるように努めています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳アプリやLINEを利用して家庭・事業所での様子を伝えあっています。また送迎時も時間の許す限り行っています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		今後、実施できるように努めていきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っており、保護者より質問があった場合は、丁寧な説明を心がけています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインを参考にしながら、個別支援計画の説明と同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があった際は随時、面談や電話でじっくりと聞き取り、必要な助言や支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		利用の申し入れについて、不当にお断りすことなく、迅速かつ適切に対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		連絡帳アプリを活用し、活動内容の報告やお知らせの文書を発信しています。LINEも活用し、随時情報を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		施錠できる書庫にて厳重に管理しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて、絵カードやボードを使ったり、文書やメールなどで伝達を行っています。

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	地元商店街の子ども食堂まつりに参加したり、ハロウィンではお菓子をいただいたり、バレンタインデーにチョコを各商店にお配りしたりして地域の方々との触れ合いを大切にしています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	定期的に研修会を行っています。保護者向けは玄関にマニュアルを備えたり、個別にお知らせしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的に職員の研修会や子どもたちを含めた訓練を実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○	各自聞き取りを行い、職員間で共有し、対応を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	各自聞き取りを行い、職員間で共有しています。現在は対象の方がいませんが、対応をします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハット事例集を作成し、職員間で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	定期的に虐待防止に関する研修会を実施しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	個別支援計画の説明やモニタリングの時期に説明と同意を得ています。 職員で情報を共有しています。